

令和4年12月6日～8日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	12番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子ども・子育て支援の拡充について</p> <p>少子化・人口減少は、日本が直面する重要課題の一つであります。コロナ禍により、2021年の出生数は過去最低の数を記録し、国の想定より7年ほど少子化が進んでおり、安心して子どもを産み育てられる社会の構築が急務となっていることから、本市における子ども・子育て支援の拡充策について質問を行います。</p> <p>① 子ども医療費の18歳までの拡大について。 ② 子ども医療費の窓口における無料化について。 ③ 保育所における使用済みオムツの持ち帰りについて。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 公共施設におけるサニタリーボックスの設置について</p> <p>高齢者の増加にともない、特に男性の方で膀胱がんや前立腺がんの手術後、排尿のコントロールが難しくなり尿漏れパッドを使わざるを得ない方が一定数います。しかし、男性トイレの個室には汚物入れ（サニタリーボックス）が設置されているケースがほとんどなく、その処理に困ってトイレに流して詰まらせたり、持ち帰っている現状となっていることから、市の対応策について質問を行います。</p> <p>① 鳥羽市の高齢化率及び膀胱がん等の現状について。 ② 市内における多目的トイレの設置数について。 ③ サニタリーボックスの設置について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 2 番	氏 名	坂 倉 広 子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 带状疱疹ワクチンの接種費用の助成について</p> <p>带状疱疹の原因となるウイルスは、成人の 90%以上の方の体内に潜んでおり、50 歳を境に発症率は急激に上昇し、60 歳代から 80 歳代でピークを迎え、80 歳までに約 3 人に 1 人が带状疱疹になると言われています。そこで、健康寿命の延伸のために、带状疱疹を未然に防ぐための対策について質問を行います。</p> <p>① 現状認識について。 ② 带状疱疹ワクチン接種にかかる費用負担の軽減について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 生活困窮から市民の暮らしを守るために</p> <p>長引くコロナ禍の上に物価高が押し寄せ、生活困窮に陥っている世帯も少なくない。救済する市政運営が求められている。そこで以下の2点を問う。</p> <p>① 子育て世帯を応援するための学校給食無償化について。 ② 宿泊施設事業者を応援する新型コロナウイルス検査キットの導入援助について。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 人口減少と高齢者対策の強化策について</p> <p>本市は「だれもがキラめく鳥羽」を掲げている。しかしキラめけない高齢者や地域も少なくない。市としての応援策について問う。</p> <p>① 人口減少と高齢化の進行で地域社会の存続が危ぶまれている。市は現状をどう認識しているか。</p> <p>② なかでも急坂の多い町に住む高齢者は極めて難儀している。救済策をどう考えているか。</p> <p>③ 各地で効果を発揮している集落支援員の積極的活用について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ インボイス制度について</p> <p>インボイス制度について日本商工会議所をはじめとした団体が実施延期などを求めている。同制度は自治体入札にも地域経済にも影響を与える。そこで以下の点について問う。</p> <p>① インボイス制度導入に伴う地域経済への影響をどう認識しているか。</p> <p>② 市の会計、各特別会計はどのように対応するのか。</p> <p>③ シルバー人材センターの要望についての対応はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	戸上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 会計年度任用職員について</p> <p>2022 年度末で会計年度任用職員の多くが任用期限を迎える。そこで以下の点について問う。</p> <p>① 会計年度任用職員が果たしている役割について。 ② 任用期限を迎える職員の現況と対応策について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	坂倉紀男
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 鳥羽市における森林環境創造事業について</p> <p>森林は、水源の涵養、土砂災害の防止、さらには二酸化炭素を吸収することによる地球温暖化防止のほか、野生鳥獣の生息の場、人々の心の安らぎの場の提供など、重要かつ多様な働きをもっています。森林がこうした「公益的機能」を発揮するには、適正な管理を継続して実施していくことが必要である。</p> <p>そこで、「森林環境創造事業」について、鳥羽市船津地区 環境林整備計画書に沿って次のとおり質問する。</p> <p>① 森林環境創造事業について。 ② 森林環境創造事業の進捗状況について。 ③ 森林環境創造事業の継続について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	11番	氏名	浜口一利
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 気候変動を踏まえた水災害対策について</p> <p>近年の豪雨の頻発化、激甚化を見ると対策を上回る速度で気候変動の影響が顕在化している可能性もあり、経済被害だけでなく人命被害の増加も考えられ、社会的不安も増大している。また、更に人口減少が進む地域における災害時の脆弱性が増している。</p> <p>これまで、国、県、市の連携した対策によって地域の安心、安全が図られてきたが、気候変動などによるリスク予測も考えての対策が望まれている。</p> <p>そこで、今後の本市の対応などについて聞く。</p> <p>① 線状降水帯の発生回数と降水量について。 ② 顕在化してきたリスクと本市の対応について。 ③ 居住地域へのリスク増とその対応について。 ④ 9月23日豪雨の被害とその対応について。 ⑤ 今後の気候変動を考えた災害対応について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	2 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 地域共生社会実現のための「つながる」について</p> <p>鳥羽市の人口減少、少子高齢化に歯止めがかからない中、地域の担い手不足は深刻な課題であり、子どもたちをサポートする教育環境や福祉分野を地域で支える現場にも今後影響が出ると考える。重点施策にある地域共生社会の実現に欠かすことのできない「つながる」という施策展開の、とりわけ中学校部活動の地域との「つながる」や、福祉の現場を支える「つながる」について、鳥羽市の施策や考えを聞く。</p> <p>① 中学校の部活動について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 部活動の国の指針は ● 部活動の地域移行について鳥羽市の考えは <p>② 福祉の「つながる」について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現在の支援体制は ● 「まちトーク」や「まちのカルテ」の活用の考えは <p>③ 今後の「つながる」の施策について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今後必要と考えられるつながる分野は ● ボランティア等ポイント制の導入について <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市清掃センターの活用計画について</p> <p>鳥羽市は、平成26年4月から鳥羽志勢広域連合のやまだエコセンターの施設整備に併せて、松尾町地内にある鳥羽市清掃センターの焼却炉の稼働を終了させている。</p> <p>今後のごみゼロ社会の実現を目指して、資源循環型社会の構築に向けたごみ処理施策を推進していくためにも、廃棄物の減量化と資源化は喫緊の課題であり、鳥羽市清掃センターの有効利用も検討する必要がある。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>① 平成26年度以降のごみ排出量の推移及びごみ処理の流れについて。</p> <p>② 令和3年3月に定めた第1次鳥羽市ごみ処理基本計画について。</p> <p>③ 鳥羽市清掃センター協議会設置による地元（松尾町内会）協議について。</p> <p>④ 鳥羽市清掃センターの焼却処理施設及び破碎処理施設の解体・撤去について。</p> <p>⑤ 今後の鳥羽市清掃センターの施設整備について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市リサイクルパークの今後の方向性について</p> <p>鳥羽市においても環境を守り活かす取り組みを行い、SDG s 社会を支えていく必要があり、その中で資源循環型社会を目指して、家庭の生ごみの発生・排出抑制など、ごみの減量化とリサイクルを通じた資源物の回収拠点や環境教室を設置して市民の交流の場となっている鳥羽市リサイクルパークの役割は大変重要である。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>① 鳥羽市リサイクルパークのこれまでの取り組みについて。</p> <p>② 地球資源循環としての生ごみたい肥化「ひなたぼっこ」の推進について。</p> <p>③ 国内外からの視察、研修状況について。</p> <p>④ 鳥羽市リサイクルパークの整備拡充について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 第六次鳥羽市総合計画実施計画（大規模ハード分）について</p> <p>令和4年10月31日の全員協議会に於いて令和5年度当初予算編成基本方針及び第六次鳥羽市総合計画実施計画（大規模ハード分）並びに今後の公債費の年度別償還額の推移等の説明があった。現在の財政状況と今後の財政見通しを踏まえた計画の実施について以下の点について問う。</p> <p>① 現在の財政状況と今後の歳入（特に市税収入の状況）及び公債費の償還と残高の推移について。</p> <p>② 第六次鳥羽市総合計画実施計画（大規模ハード分）の意思決定プロセスについて。</p> <p>③ 第六次鳥羽市総合計画実施計画（大規模ハード分）、特に消防本部主訓練塔建設工事について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 都市計画税のこれまでの経緯及び今後について</p> <p>都市計画税について以前から市民の不満や問い合わせがたくさんあり、これまでの経緯や今後の展望を明らかにし、今後市民への丁寧な説明が必要と考える。よって以下の点について問う。</p> <p>① 都市計画税導入の経緯から現在までについて。 ② 過去十年の都市計画税充当事業について。 ③ 県内の都市計画税導入状況について。 ④ 都市計画事業基金の創設の経緯と残高等について。 ⑤ 今後予定される都市計画税及び基金を充当する事業について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	瀬 崎 伸 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 地域共生社会の実現に向けた獣害対策の拡充について</p> <p>イノシシ・ニホンジカ・ニホンザル等の獣が、市民の生活環境に出没する機会が増えており、市民生活に有害な獣が増加していると感じる。農業被害もさることながら、子ども達の通学路や住宅街に、これらの有害獣が出没する事で、市民生活の安心・安全を脅かす存在にもなっている。</p> <p>農業被害では、鳥羽市が進める「兼六芋」事業において、今年の苗を各農家さん等へ配布する直前、サルによるほぼ全滅に近い被害を受けた事に、今回の質問の端緒がある。今後、このような被害を防ぐ為にも、何らかの対策を進めなければならない。そこで、「兼六芋」事業の進捗状況等や市街地へサル等の獣が出没する原因も絡めつつ、明らかにしたい。</p> <p>地域共生社会を標榜する鳥羽市における獣害対策について、行政が担う支援策の最善を模索し、提案する意味で、以下の諸点を聞く。</p> <p>① 鳥羽市の獣害被害の現状について。 ② 有害獣の捕獲状況について。 ③ 「獣害につよい集落づくり」のための支援方法について。 ④ 獣害対策の本来の目的について。 ⑤ 地域共生社会における獣害対策の役割分担について。 ⑥ 今後、取り組むべき獣害対策について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	奥 村 敦
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 本市におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）推進について</p> <p>2022年6月7日に「デジタル社会の実現に向けた重点計画」が閣議決定された。デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会、誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化が示された。そこで以下の点について本市の現状や今後の方針を聞く。</p> <p>① 本市の自治体DXの現状と方向性について。 ② 自治体DX推進計画について。 ③ 自治体DXの組織体制の整備について。 ④ DX推進のための人材確保及び育成について。 ⑤ デジタル化による地域の活性化について。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	山 本 哲 也
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 「鳥羽の日」を活用した地域活性化について</p> <p>今年度も 10 月 8 日の「鳥羽の日」を中心に、10 月を鳥羽の月としたオクトバも大きな盛り上がりを見せた。取り組みが始まって以来、携わった方々の努力もあり鳥羽の日も多くの方に認識されるまでになった。近年では近隣市町や県外からも多く訪れていただけており、観光にも大きく寄与している取り組みとなっている。さらなる取り組みの推進により、市の活性化につながると期待している。そこで、市長の鳥羽の日に対する認識や市の今後の方針について聞く。</p> <p>① これまでの取り組みについて。 ② 今後の方針や展開について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	14番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ ふるさと納税の推進強化策について</p> <p>鳥羽市は今後人口減少や少子高齢化、コロナ禍での観光経済の低迷などによる税収減など財政難が危惧されている。予算編成においても歳出の削減だけでなく財源を確保しないと夢のある事業も実現できない。更なる財源確保のために「ふるさと納税」事業を選択し集中して取り組むべきである。</p> <p>そこで以下の点について問う。</p> <p>① ふるさと納税のしくみとこれまでの実績、現在の状況は。</p> <p>② これまで進めてきた中での課題は何か。</p> <p>③ 今後の目標額と新たな推進策は。</p> <p>④ 鳥羽を訪れた人がその場でふるさと納税を行い、返礼品に電子クーポンを発行し宿泊料金や地元特産品のお土産代に利用できる制度の導入状況は。</p> <p>⑤ ワンストップ特例制度のしくみと活用状況について。</p> <p>⑥ 推進体制強化のために係の人員増と、外部の民間企業のマーケティングのプロにアドバイスをもらう考えは。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	14番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 佐田浜及び鳥羽駅周辺の駐車場不足対策について</p> <p>佐田浜及び鳥羽駅周辺の駐車場については、ゴールデンウィークやお盆を含む夏休み、シルバーウィーク、年末年始には慢性的な駐車場不足になっている。観光客や離島住民の駐車場スペースの確保は、観光客誘致や住民の生活と利便性を守るためには大変重要なことである。そこで行政として観光客や住民の願いに応えるための方策を問う。</p> <p>① 市長に観光客や離島住民の声は届いているか。 ② 今後の対策は何か。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	14番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 相差池中地区の冠水対策について</p> <p>本年 9 月に豪雨により、相差町池中地区においては二度にわたり冠水した。住民は度々の被害に困り果てている。今後の対策について問う。</p> <p>① 本年9月の大雨時の被害状況は。 ② 市のとった対応は。 ③ 今後の対応策は何か。 ④ 国や県との連携や支援をどう図っていくのか。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			